

【 経 過 】

9月 7日 発電所東側（取水口部分）防潮堤工事において、今年春まで現場に携わっていた工事関係者（以下、A氏）から、防潮壁基礎となる南北両側に配置された地中連続壁基礎工事で施工不良があったと、大名美恵子東海村議に電話で告発あり。

A氏は9月6日に、同様の内容を日本原電東海事業本部に電話で通報したとのこと。その際、電話に出た原電職員は「調べてみる」と返答。

さらに、A氏は日本原電本店にも電話通報したとのこと。（日にち不明）

9月 8日 A氏から、同様の内容についてしんぶん赤旗支局に電話で告発あり。

9月11日 江尻が、大名村議と赤旗記者からA氏の告発内容を聞き取り、県原子力安全対策課に伝えた上で、県としても原電に確認するよう要請。

9月12日 原電東海事業本部の社員が県庁に来て原子力安全対策課に説明。「通報は『公益通報』扱いのため言及できないが、基礎部分の施工不良は今年4月に確認し、現在も対応方針を検討中」とのこと。

9月20日 日本共産党として、A氏からオンラインで話を聞く。江尻、大名村議のほか、塩川鉄也衆議院議員、岩渕友参議院議員、笠井亮衆議院議員秘書が参加。

9月22日 日本共産党から原電東海事業本部に「質問書」を送付。合わせて、茨城県と東海村に「要請書」を提出。原電に対し10月6日までの回答を要求。

10月4日 原電東海事業本部から期日内には回答できない旨の電話連絡あり。「13日までに再度連絡する」とのこと。

10月13日 昼前に、日本共産党で記者会見を行うことを記者クラブに連絡しレクを予約。午後、原電東海事業本部から「10月16日に回答したい」旨の電話連絡あり。